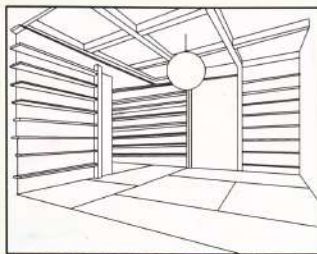


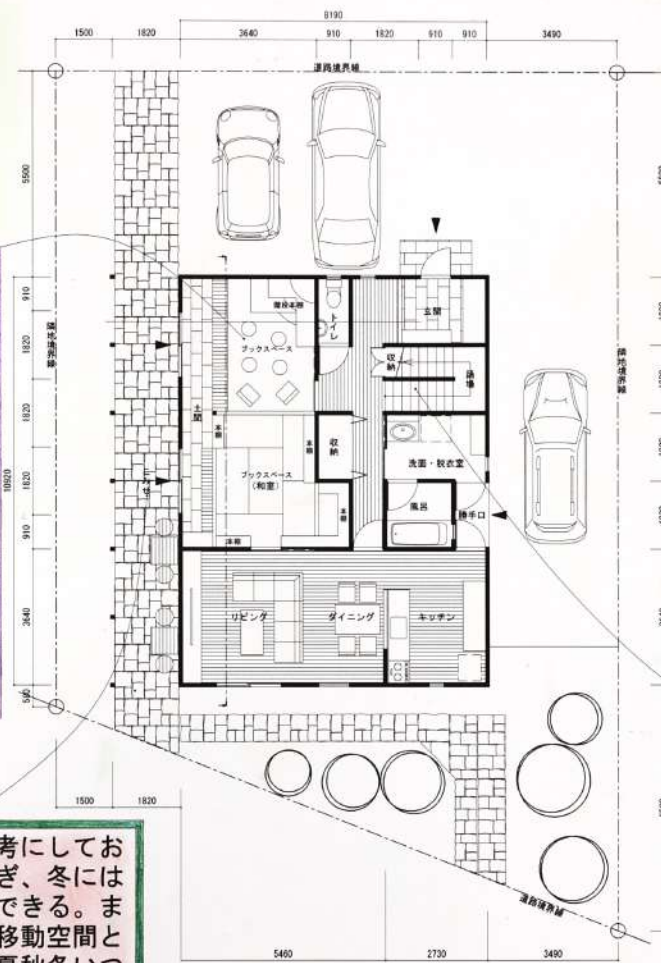
本に集う家

CONCEPT

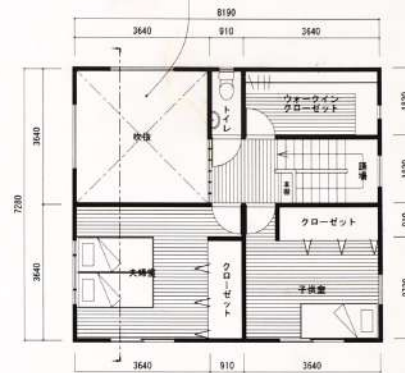
父母共に読書が好きで、その影響で子供(1人)も読書好きに育った。多くの本を所有しているため読まなくなった本も多くあり、どう処分すればいいか悩んだとき、自分たちが読まなくなった本を近所の人たちと共有すれば本を無駄にすることがなく交流が深められると考えた。アフターコロナに向け、人が集まることの喜びや、人との関わりを感じられる家となり、息苦しかったコロナ禍の日々を乗り越え、本と人だけでなく、再び人と人の距離を近づけながら、これまでの日常を呼び戻せるような家となるように計画した。



ブックスペースには大きな階段型の本棚を設置しており、本棚に座わりながら友達同士、親子、もしくは一人で本を楽しめる。床にはソファやクッションを置き、座ったり寝そべったり自由なスタイルで本を読んだり話をしたりすることができ、ゆっくりと時間を過ごすことができる空間としている。和室側ではイベントが開催できるようにし、定期イベント開催を通じて年代毎や年代を超えた交流を図り、アフターコロナにふさわしいコミュニティスタイルの形成を育む。



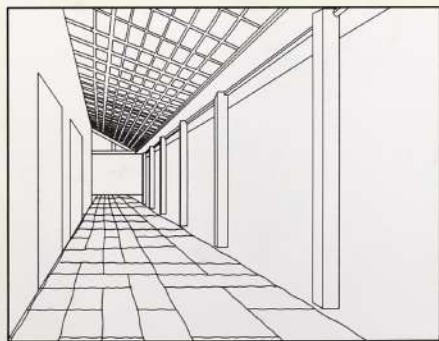
ブックスペースにゆとりと解放感をもたらせ、本にとって天敵である直射日光を防ぎながら、部屋全体に光が届くようにしている。



2階平面図 1:100

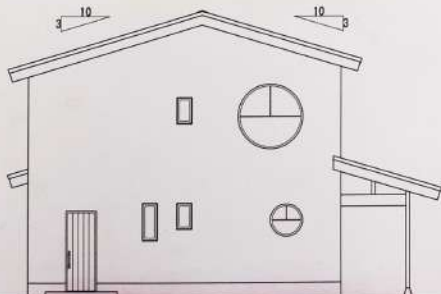
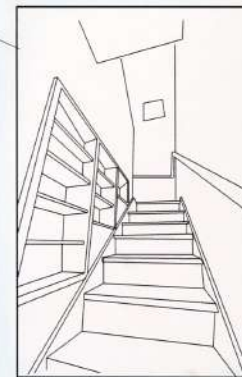
家族構成	
父親	会社員
母親	本屋
子供	小学生

面積表	
敷地面積	300.0㎡
建築面積	109.30㎡
1階床面積	89.43㎡
2階床面積	46.37㎡
延べ面積	135.80㎡
建ぺい率	36.43%
容積率	45.26%

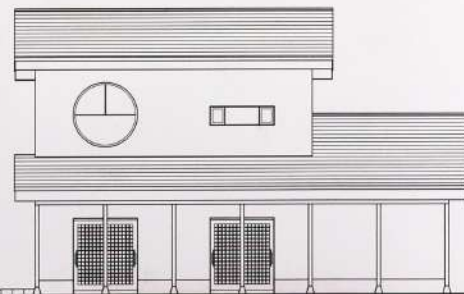


青森県のこみせを参考にしており、夏には日照りを防ぎ、冬には吹雪や雪を防ぐことができる。また、道路と農道を結ぶ移動空間としての機能を備え、春夏秋冬いつでも快適にブックスペースを利用しに来ることができる。石畳の上に椅子を置き、外で自由に時間を過ごすこともできる。

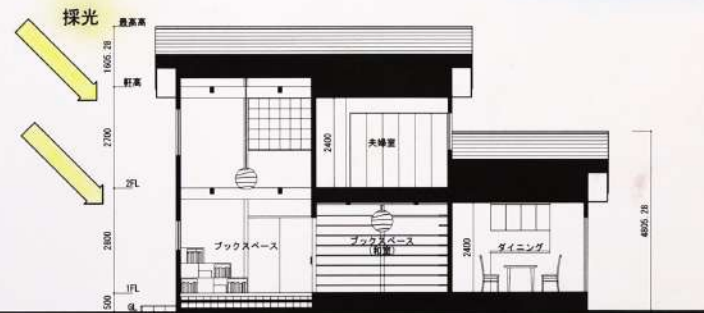
配置図兼1階平面図 1:100



北側立面図 1:100



西側立面図 1:100



断面図 1:100